



Sylphy

オフィスシーティング【シルフィー】

okamura

①体にフィットする『バックカーブアジャスト機構』

背もたれの「横方向のカーブ」を変化させる新機構

②多様な作業姿勢に対応する『前傾機能付シンクロリクライニング』

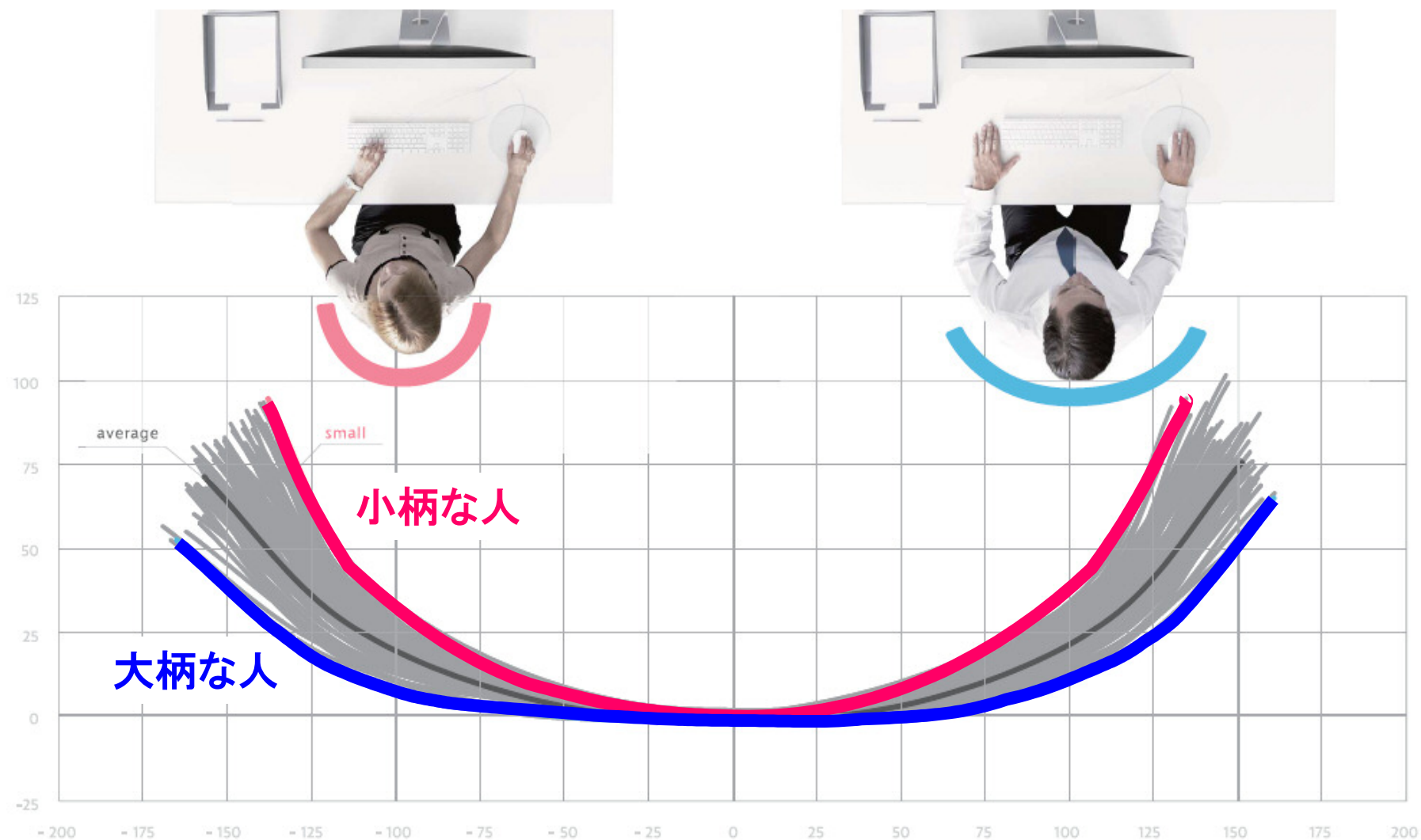
長時間の事務作業をサポートする「新リクライニングメカ」

③フィット性を高める『異硬度クッション』

硬さの異なる3種類のウレタンを「一体成型」

腰まわり形状の個人差

okamura



体格の異なる100名の腰の形状を計測。体格により大きく差があることがわかりました。

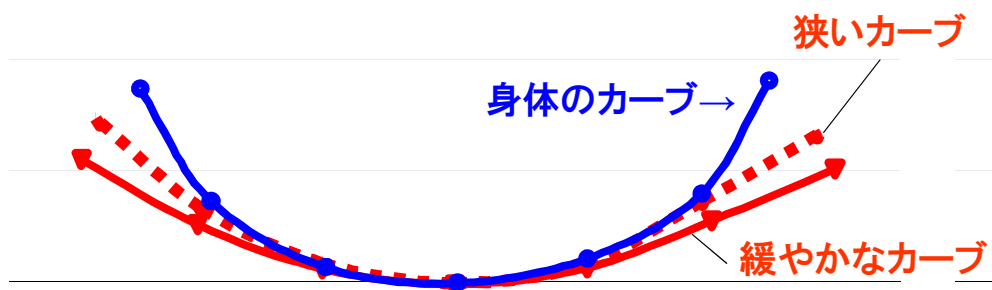
『バックカーブアジャスト』機構

okamura

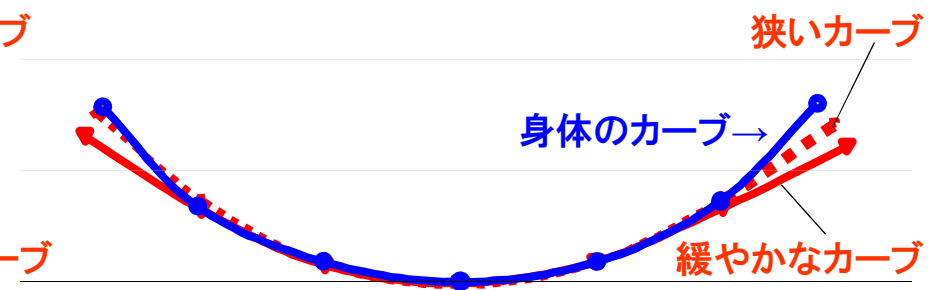


体格に合わせて『腰まわりのカーブ』をチェンジ

okamura



狭いカーブにすることで身体にフィット



「緩やかな」カーブにすることで身体にフィット

フィット性を高める背フレーム構造

okamura

■背もたれを変形させるための工夫

バックカーブアジャスト機構により、身体に合わせて背もたれを変形させるために、フレームと背の取り付け構造にも工夫があります。背の上部はしっかりと固定し、サイドから下方にかけてはフリーにすることで、からだの動きに合わせて動きます。



●メッシュタイプ

メッシュを張っているフレームは、極力薄くすることで、変形しやすくなっています。

メッシュ枠の内側は、からだと接触するため、緩やかなカーブ形状にすることで、触れても枠を感じないように工夫しています。



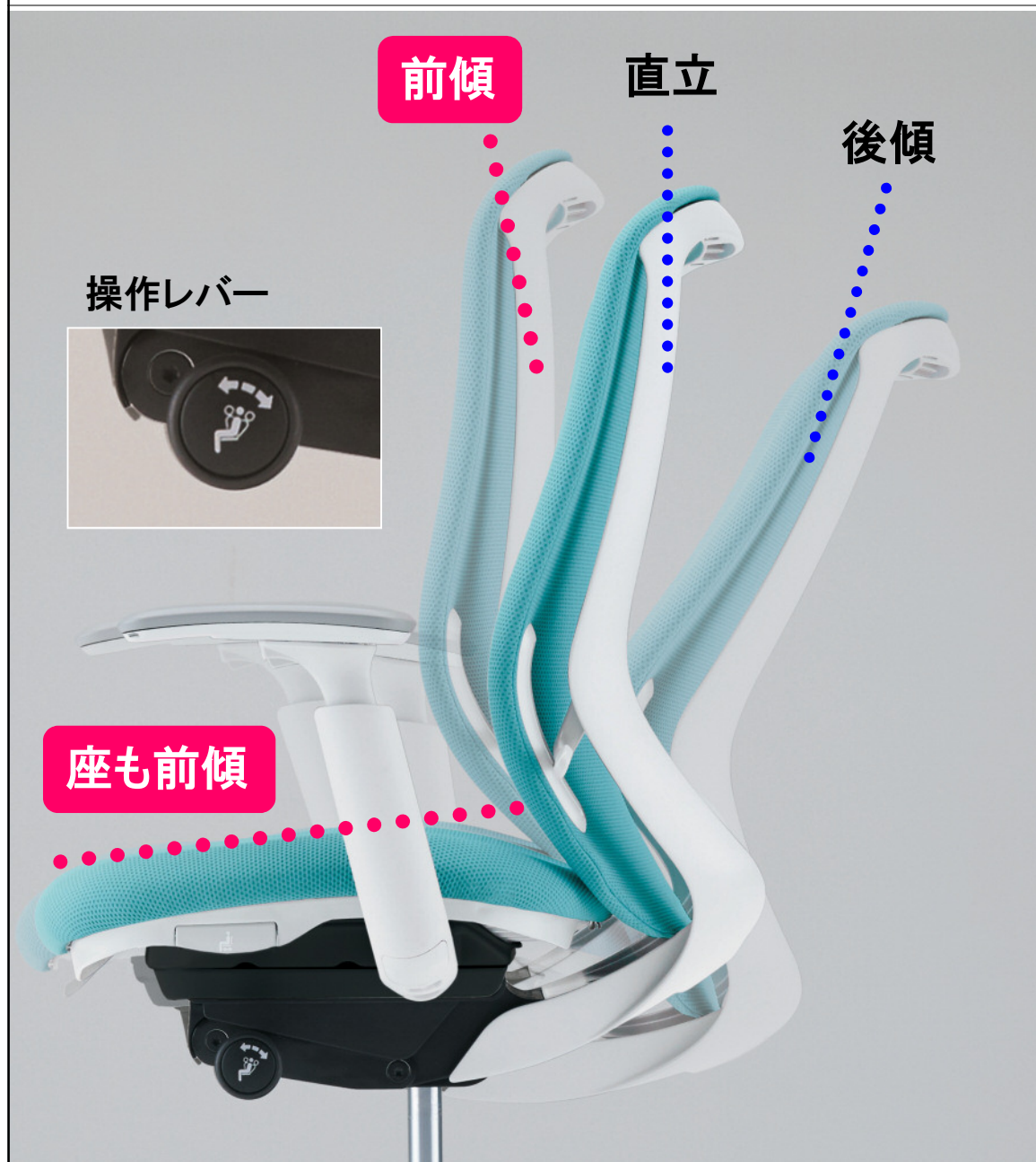
●クッションタイプ

クッションタイプは、芯材となる樹脂の板に大きな穴を空け、さらに、穴を互い違いにずらすことで、変形しやすくなっています。



前傾機能付シンクロリクライニング機構

okamura



これまでの直立～後傾のリクライニングに加え、新たに前傾ポジションがとれるようになりました。

長時間の事務作業では、**多様な姿勢を取ることが大切です。**作業内容に応じて、姿勢を変えることをおすすめします。

例

- ①パソコン作業：直立姿勢
- ②書字作業・書類整理：前傾姿勢
- ③休息：後傾姿勢

『前傾機能』の効果

okamura

「前かがみ姿勢」が長時間続くと…

- ・おなかが圧迫されます。
- ・骨盤が後ろに倒れて背骨が湾曲し、腰が痛くなります。



座面を前傾させ少し上げると…

- ・おなかの圧迫が解消されます。
- ・骨盤が起きて背骨のS字が保たれ、腰の負担が軽減されます。



フィット性を高める座面

okamura

■おしりにフィットする座面

座面のモールドウレタンはおしりにフィットしやすいように緩やかな3次元曲面になっています。また、オカムラ独自の異硬度クッションにすることで、クッションの後方は最も体重がかかるため硬めに、前方はもも裏を圧迫しないように柔らか目のクッションになっています。さらに、多方向に伸びる伸縮性に優れたクロスを張ることで、おしりに合わせて変形します。

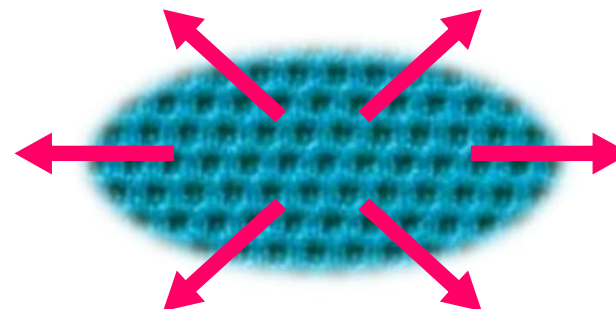
ポイント① 3次元曲面



ポイント② 異硬度クッション



ポイント③ 伸縮性の高いクロス



その他 調節機能

okamura

■座面の高さ調節



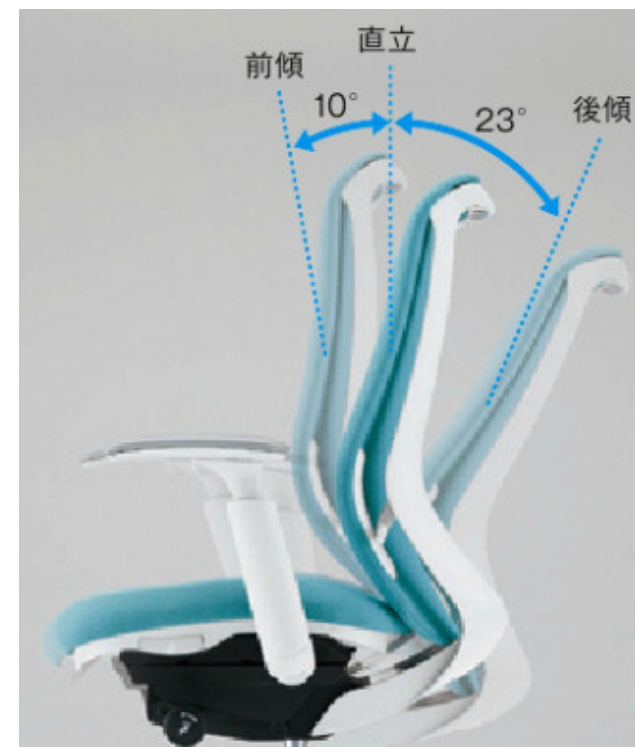
高さ:100mm

■座面の奥行調節



奥行:50mm

■リクライニング



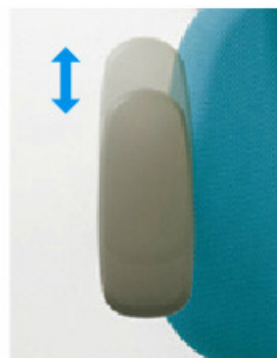
■可動肘の調節



高さ:100mm



角度:40°



前後:50mm



リクライニング反力の強さを調節可能